

コメントの追加 [na2]: ユーモアのあるセリフで良いです。

コメントの追加 [na1]: 三点リーダーは2つセットで使いましょう。

コメントの追加 [na5]: 「こちらを見ていた」とし、クラスメイトがどこを見たのかをはっきりさせましょう。

コメントの追加 [na3]: ・「よく」はこの文章の場合不要になります。家に常時あると思われるからです。
・般若の面のことでしょうか？

コメントの追加 [na6]: ・動作がおかしな文章になっています。
「席に座っていた咲が、天が入ってきた扉を閉めた。」
・いきなり「咲」と出てくると読者は困惑します。「友人の咲」とするなど、天にとってどんな人物かを書きましよう。

コメントの追加 [na4]: クラスメイト

基礎編課題③【名前…】

800文字程度で文章を書いてみましょう。
シチュエーション「朝、慌ただしく教室に入ってくる高校生」

「ヤバイヤバイヤバイ！」

閉じかけていた校門の隙間をすり抜け、天は校舎へと向かう。教育指導の先生が背後で何か言っているが、今の天にそれを聞く余裕はなかった。

「始業まであと三分か…って、はあ!? 三分!? 地球の自転おかしんじゃないの!?!」

正面玄関へ来ると、瞬時に靴を下駄箱に放り投げ、天は自分の上履きを廊下に投げ

る。そこに足をつまむと階段へと向かった。

べこべこと踵を踏んづけているが、何より今は前に進みたい。天はぐんと歯を食いしばって階段を上った。

「うおおおおお！」

一段、二段と段数を飛ばしていく。途中、スカートがめくれかけたがそれもご愛敬。どうせこの時間では見ている者など誰もいない。

自分の教室がある三階へと着き、廊下の突き当りを睨む。教室の位置は最も陽の光が当たる最奥の教室。優良物件だが遠いのはこういう時に辛い。

「間に合え! 間に合えー!」

後はただ走る。汗を垂らし、息を切らし、風を裂く。もはや女子高校生の顔ではなく、よく祖父母の家にある般若のような顔をしていた。

一番後ろの白い扉前に立つと同時に手をかける。そして一気に開いた。

「おはよう!!」

周りの目など気にせず、天は勢いよく教室の中へと転がりこむ。するとクラスの名かが驚いた眼で見ていた。

席に座っている生徒はまだ少ない。すると席に座っていた咲が座りながら、天が入ってきた扉を閉めた。

「おはよう。天」

「よっしゃ! 先生きてない! セーフ!」

天は大げさに胸の前で腕を開き、何度もセーフと繰り返す。それを見ていた咲はやれやれと首を振った。

「あんね、セーフだけど余裕はもちなったの。これで抜き打ちテストとかやってたらどーすんの?」

コメントの追加 [na7]: どう気持ち悪いのか、セリフだけでなく天の様子を描写することでも表現したいです。

「んもーう。咲ちゃんてば。そういうのは言わない約束でしょ」
「うわ、キモ」

「ああ!?! なんつったコラァ!」

「いいから、さっさと席つきな」

適当にあしらう咲を横目に、天は自分の席に向かった。